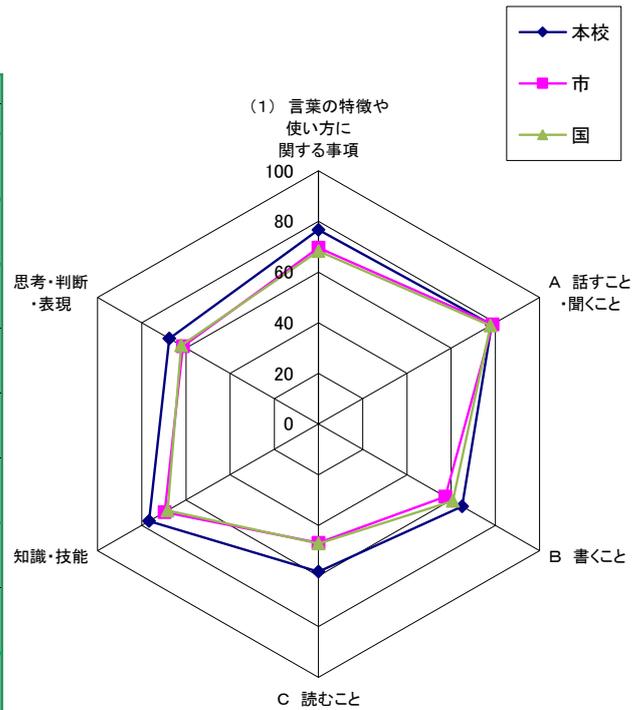


宇都宮市立清原北小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	76.7	69.6	68.3
	(2) 情報の扱い方に関する事項			
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	78.3	78.7	77.8
	B 書くこと	65.0	57.3	60.7
	C 読むこと	58.3	46.9	47.2
観点	知識・技能	76.7	69.6	68.3
	思考・判断・表現	67.5	61.4	62.1
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	<p>平均正答率は、市より7.1ポイント、国より8.4ポイント高い。</p> <p>○漢字を文の中で正しく使う問題や文の中における修飾と被修飾との関係を捉える問題の正答率は、国の正答率より高い。</p> <p>●思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う問題の正答率は、国より2.5ポイント低い。</p>	<p>・漢字の学習については、家庭学習等で取り組ませるなど、継続的に指導する。また、文章を書くときに、学習した漢字を使わせたり、作文指導の際に辞書を活用させたりする。</p> <p>・基本的な語句の使い方は、学習プリントなどで復習を行うことにより定着を図る。</p>
A 話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、市や国とほぼ同じである。</p> <p>○スピーチの練習で、資料を使った理由の説明として適切なものを選択する問題の正答率は、国より5.1ポイント高い。</p> <p>●目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える問題では、正答率が70%と国より低い。</p>	<p>・授業や学級活動などでの話し合い活動を充実させ、相手の意見と自分の意見を比べながら聞いたり、話の展開に沿って自分の考えを述べたりできるようにする。</p> <p>・会話科において、相手意識を大切に活動継続的に指導し、実践的コミュニケーション力を育成する。</p>
B 書くこと	<p>平均正答率は、市より7.7ポイント高く、国より4.3ポイント高い。</p> <p>○自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える問題の正答率は70%で、国より高い。</p>	<p>・引き続き、目的や意図に応じて自分の考えを明確にして文章にする活動や字数や自分の考えが相手に伝わるような構成や文章表現を意識するなどして、短作文を書く活動に取り組ませる。</p>
C 読むこと	<p>平均正答率は、市より11.4ポイント、国より11.1ポイント高い。</p> <p>○目的に応じて、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける問題では、国より正答率が20.6ポイント高い。</p> <p>●文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する問題の正答率は85%と高いが、国より低い。</p>	<p>・文章の内容を的確に捉えて読んだり、筆者の意図を考えながら読んだりできるよう指導する。また、内容や筆者の考えに対する自分の考えをまとめる活動を計画的に取り入れる。</p> <p>・引き続き、伝記や感想文、報告文など様々な目的で書かれた文章や、レポートやレシピ、メモなど様々な形態の文章などにも触れられるよう、読書活動の充実を図る。</p>